

＊ おおいしだ

# 議会だより

No. 182

令和6年(2024年)

11月10日

— 発行 —  
山形県大石田町議会

◆ 第3回定例会 (9月3日～13日)

## 主な記事

誰もが住みよい町へ！町に対し、4分野、11の提言！…	2
令和5年度決算 総括・検証！ 動議を提出！ ……	4
令和6年7月25日豪雨災害、しっかり対応を！ ……	8
どうする!?大石田 6人が一般質問 ……	10
大石田の民具を訪ねて ……	20



議会の  
映像配信は  
こちらから

大石田町ホームページ

<https://www.town.oishida.yamagata.jp>

大石田どきどきダンスフェス  
ティバル (関連記事：P17)

# 町に対し、4分野、11の提言！

大石田町議会では、町民の意思を反映し開かれた議会とするため、各種団体との対話等により町民の意向を踏まえ、行政運営の更なる充実を求めるため、政策提言を重ねてきた。

今回は、4月に開催した地域住民との対話集会や6月に開催した第2回女性・青年模擬議会で挙げられた意見を基に、4分野、11の提言を町に対して行った。



## 【災害対策関係】

### 1. 川端地区内に常設のポンプ設置を

令和2年水害を受けて、現在国土交通省及び山形県による最上川治水対策が進行中であるが、以前から内水による床上、床下浸水の被害が多く、問題となっている。

特に川端地区内は、豪雨があるたびに浸水の危険に脅かされている。近年でも令和2年、4年、6年に浸水被害が出ている。川端地区からは、常設ポンプ設置を強く要望されているため、排水ポンプの常設及び管理体制の整備を図ること。

(P11に関連記事)

### 2. 栄町地区の排水溝改修を

内水被害は、大石田地区流雪溝の流末である川端地区だけではない。高台である栄町地区の道路も豪雨時には床下浸水の被害が発生している。原因は排水溝が逆勾配になっていることが原因である。改修するには、J Rの水路を排水溝として利用しているため、J Rと

協議し、改修の許可が必要になるものと思われる。

早急にJ Rと協議し、栄町地区の安全な生活を守るため、排水溝の改修を行うこと。(P13に関連記事)

### 3. 最上川治水対策における移転交渉に関して

現在、移転交渉が国土交通省と地権者との間で行われているが、町が交渉に同行していないと、代替地の情報を地権者が得られない場合がある。また、交渉後に地権者が疑問を持った場合に町に聞いても分からないと言われる場合があるので、地権者からの疑問、質問には、町側でも答えられるよう、国土交通省と町の職員とが情報共有しながら移転交渉に臨むこと。

(P12に関連記事)

### 4. 町内の消防団、水防団活動体制の整備を

常態化する豪雨被害を最小限に抑えるために、消防団員数の確保及び機能別消防団の運用を早期に実施すること。(P15に関連記事)

# 誰もが住みよい町へ！

## 【農政関係】

### 5. 拡大する鳥獣被害対策 拡充を

近年、クマ、イノシシ、シカによる農地や農産物への被害が増加している。電気柵設置費用の農家負担額の軽減、町鳥獣被害対策実施隊員の確保等、鳥獣被害対策の拡充を図ること。（P13に関連記事）

### 6. 農業者担い手不足解消 のための支援強化を

当町における農業者で65歳以上の割合は72%となった。さらに、新規就農者がほとんどいないこと等により担い手不足となってきた。農業の魅力、やりがい

を伝えるPR活動の強化、若手農業者向け支援の拡大、農業法人設立支援等の対策を早急に実施すること。

## 【少子高齢化関係】

### 7. 少子高齢化が急速に進む中、その対応と具体的な対策を

平成2年3月31日で10,557人いた町の人口は、令和6年3月31日には6,076人に減少し、65歳以上の高齢化率は44.1%に達している。このことは、町の存続にかかわる重大な懸念事項である。町としての少子高齢化への対応とその具体的な対策を早急に示すこと。

### 8. 町の保育園の在り方を 町民に示すべき

ふたば横山保育園が令和6年度をもって廃止する意向を町に示した。

婚姻数の減少や少子化により出生数が年々減少してきている中、町内にある保育園の統合も視野に入れて、町としての今後の保育園の在り方を早急に検討し、町民に示すこと。

### 9. 子育て支援対策のPRを 少子化が進行する中、仕事を継続しながらの病児、病後児保育は、育児において重大な課題である。現状で山形連携中枢都市圏での連携事業として、村山地域各市町で病児、病後児保育を行っている施設の利用が可能である。

子育て世代にとって負担の軽減となる大変喜ばしい支援であるので、町民へより一層の周知を図ること。

### 10. 空き家や廃校となる小学校の活用にもオール大石田で取り組むべきでは

少子高齢化が急速に進行する中、空き家が多く見かけられるようになってきている。また、小学校の統合後、廃校がでてくる。

空き家活用、廃校利活用については、関係機関等で検討協議を行っているが、子育て世代、若手町民等、様々な町民の意見を聞いて少子高齢化対策につなげるためにオール大石田で取り組むこと。

## 【その他】

### 11. 公金紛失事件の説明責任をはたすべき

公金紛失という重大な事件が発覚してからすでに1年が経過している。町では現在警察と協議しながら事件の解明にあたっていると聞くが、公金は町民の貴重な財産であることを踏まえ、公金紛失の経緯、今後の公金管理体制、警察との協議内容に関して町民への丁寧な説明を行い、真相究明を図ること。（P6に関連記事）

以上を、令和7年度に向け、十分に検討のうえ、行政運営にあたられるよう提言する。

令和6年9月13日

大石田町議会

提言内容の一部は、今定例会で議論し、答弁を受けた。

（関連記事を参照）

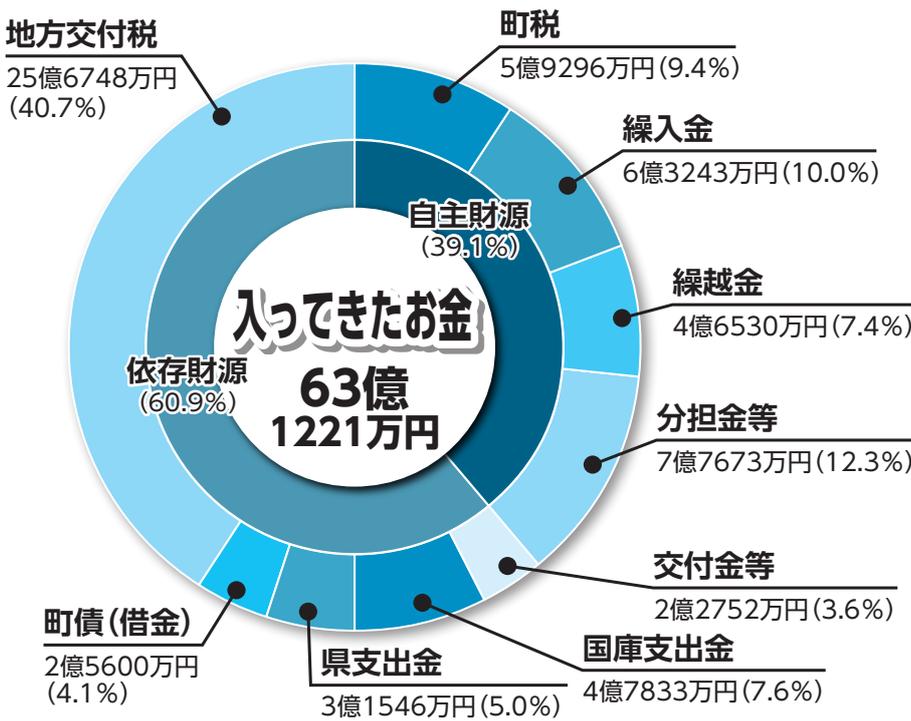
# 動議を提出!



## 一般会計に付帯決議

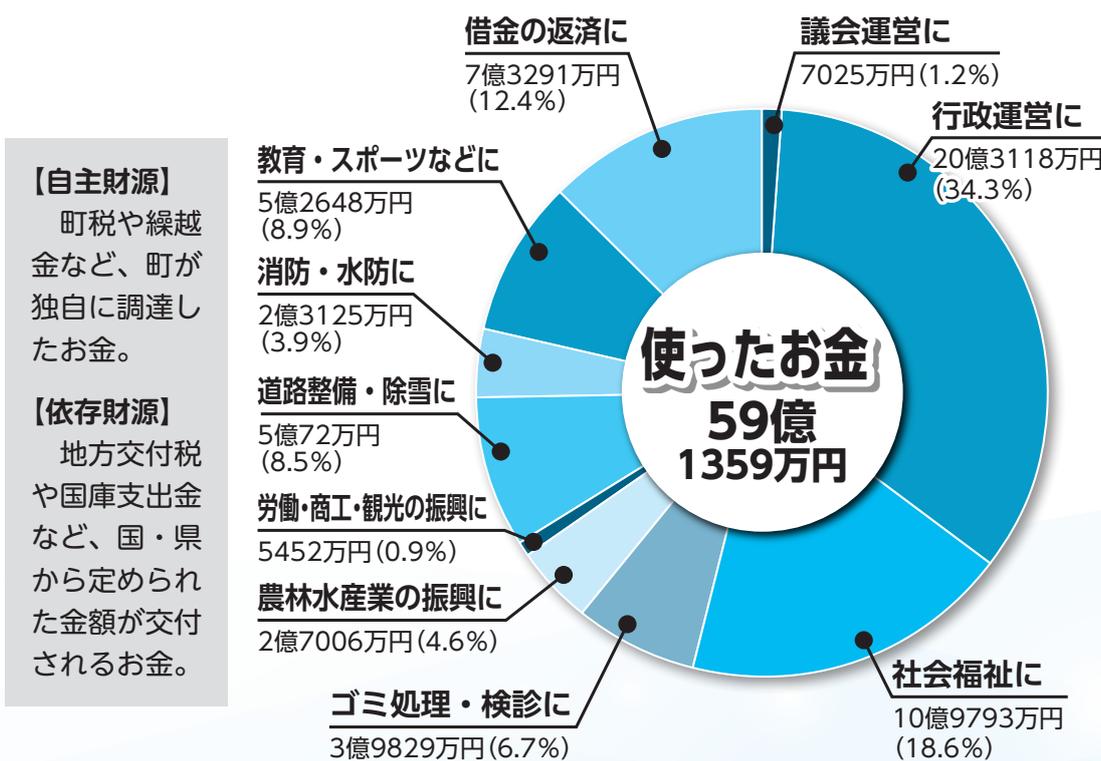
### 一般会計歳入歳出決算

### 第3回定例会 9/3~9/13



第3回定例会は、9月3日から13日までの11日間の会期で開かれ16議案を審議しました。  
令和5年度決算は、特別委員会を設置し、詳細に審査した結果、各会計を全員賛成で認定しましたが、一般会計については、昨年度発覚した公金紛失の原因究明と再発防止を求める付帯決議を行いました。

決算特別委員会での審議：P6~7  
補正予算、条例等の審議：P8~9



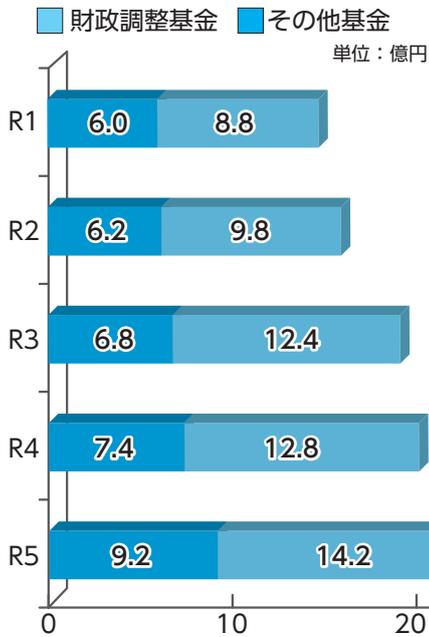
**【自主財源】**  
町税や繰越金など、町が独自に調達したお金。

**【依存財源】**  
地方交付税や国庫支出金など、国・県から定められた金額が交付されるお金。

- 補正予算 3件
  - 条例制定 3件
  - 人事案件・その他 2件
  - 決算 6件
  - 発議 2件
- 以上16件  
原案どおり  
可決・認定

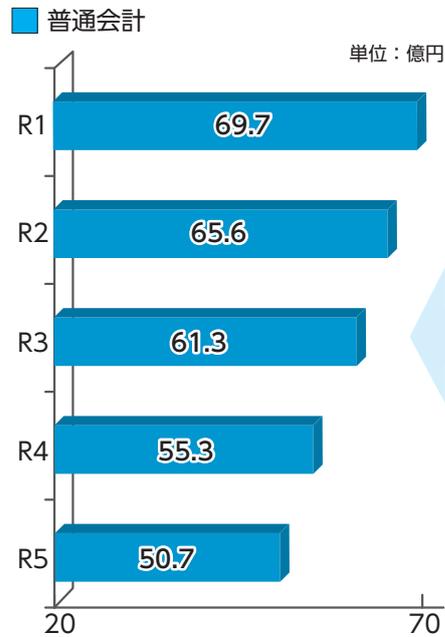
# 令和5年度決算 総括・検証！

## 基金(貯金)残高の推移



ふるさと納税による寄付額が堅調に増加していることなどから総額は前年度から増額しました。予定される大型事業に向けて、目的に沿った活用がなされているか注視する必要があります。

## 町債(借入金)残高の推移



償還を終えた地方債が新たに償還を開始した地方債を上回っており、前年度から更に残高が減少しています。

## 「令和5年度町税」決算額と収納率

区分	令和5年度決算額	前年度比
町民税	2億4571万円	112万円
固定資産税	2億9714万円	98万円
軽自動車税	2972万円	▲11万円
たばこ税	264万円	4万円
鉱産税	33万円	0円
入湯税	0円	—
都市計画税	1742万円	1万円
合計	5億9296万円	204万円

年度	R1	R2	R3	R4	R5
収納率	↓96.2%	↑96.3%	↑96.5%	↑96.7%	↑96.9%

高い収納率を維持。

町税は、前年度から若干増額しました。自主財源の概ね4割を占めており、町の収入としてとても大切なお金です。

入湯税は、令和元年7月から課税を免除しています。

## 令和5年度一般会計・各特別会計決算額及び前年度比較

区分	歳入			歳出			
	決算額	前年度比較	増減	決算額	前年度比較	増減	
一般会計	63億1221万円	▲2億4818万円	▲3.8%	59億1359万円	▲1億8150万円	▲3.0%	
特別会計	国民健康保険	8億5766万円	▲1999万円	▲2.3%	7億6436万円	▲5449万円	▲6.7%
	次子簡易水道	979万円	190万円	24.1%	979万円	190万円	24.1%
	農業集落排水事業	7455万円	▲535万円	▲6.7%	7455万円	▲535万円	▲6.7%
	介護保険	9億6223万円	▲118万円	▲0.1%	8億8829万円	▲369万円	▲0.4%
	後期高齢者医療	1億1661万円	1647万円	16.4%	1億1498万円	2384万円	26.2%
合計(一般会計+特別会計)	83億3302万円	▲2億5637万円	▲3.0%	77億6556万円	▲2億1931万円	▲2.7%	

# 令和5年度決算を「総括・検証」!

## 一般会計に動議を提出、付帯決議へ

一般会計歳入歳出決算  
【賛成多数】  
反対：大野委員

町民交流センター  
使用料一部紛失

海藤 義則 委員

金額的には補てんをしたが、処分は終わっていない。どのように考えているのか。  
町長 警察の判断を待って、懲戒処分審査会を開きながら処分について検討する。

村形 昌一 委員

決算審査の意見として「管理体制の不備と問題点の解消を徹底し、同様の事例が二度と発生しないよう常に努力されたい」と記された思いは。

代表監査委員 手揚げ金庫は非常に微妙と感じていたが、町民に当日夜の使用料を後日支払いでお願いできない。手揚げ金庫の使用は町民サービスのためと理解した。

一般会計決算に対し  
動議を提出

提案者 大野 達也 委員

提案理由

町民交流センター使用料一部紛失について、今後調査を継続し、経過、結果を町民に報告すること、調査結果に基づき、適正な事務処理をすることを強く求めることを提案する。

一般会計歳入歳出決算  
に対する付帯決議  
【賛成多数】  
反対：遠藤委員、海藤委員



賛成多数により、一般会計歳入歳出決算については、付帯決議を附して認定すべきものと可決された。

動議とは

会議の議事進行の過程において、議員から提案される議案以外のもの。  
動議には、議事進行に関するもの、議案に関するもの、組織・事件に関するものなどがある。



コロナ禍前のひなまつり

ひなまつり休止

今野 雅信 委員

ひなまつり実行委員会では休止が決まった。今後は何もしないのか。

町長 主体は本町地区の方々で、展示も接客も大変とのこと。機運が高まれば再開も検討していく。

不便な福祉バス

二藤部冬馬 委員

運行が週に1回と年金支給日だけでは不便との声がある。若者だけでなく全ての世代が住みやすい町にすべきでは。

町長 週に1回だから利用者が少ないのか、不便だから少ないのか検証し、ルートや回数を考慮し、もっと利用しやすいしたい。



利用しやすいバスの運行を

## ストレスチェック

川崎 義治 委員

管理職、会計年度任用職員、委託業者の方は、対象になるのか。

総務課長 職員は全員対象。相談が必要な場合は共済組合などに相談するよう促している。委託業者の方は業者で行っていると思われる。

## 運行マニュアル

大野 達也 委員

教育委員会作成のスクールバス運行マニュアルは必要ないのか。



決算特別委員会委員長  
芳賀 清

決算特別委員会とは予算が適正に使われたかを審査するための委員会です。

審査の結果、令和5年度決算の一般会計は、付帯決議を附して認定すべきものと決定し、他5特別会計の決算は、認定すべきものと決定したことを議長に報告しました。

## 物価高騰支援

今野 雅信 委員

新型コロナウイルスや物価高騰を受け、エネルギー等を発行したが、物価高騰は続いている。

町としてどう考えているのか。  
町長 国や県からの補助金を最大限活用して、物価高騰対策を進めていく。

## 倒木撤去を早急に

海藤 義則 委員

各所で根こそぎ倒木、根元に穴が空き、土砂崩れも発生している。補助金を有効に活用し、倒れる前に伐採を。

町長 豪雨でも倒木のあったことを認識している。地権者、森林組合と協議し対処していく。

## ふるさと水と土保全基金

二藤部冬馬 委員

令和5年度の決算でも増減がなく、ここ数年、何年も使われていない。県のホームページの事例を参考にしたい。

町長 基金は必要な時に使うもの。活用例など参考に協議していく。

## 首都圏大石田会

遠藤 和好 委員

会員は年配の方が多い、今後どのような運営を考えているのか。

町長 この度50代60代の方が幹事になられ、40代50代の会員も増えた。郷土の輪が広がり、年配の方から若い方まで楽しめる会になればと思う。

総務課長 会員の方へ広報紙を送付している。その時に会員募集の声がけもお願いしている。

## 町の情報発信

村形 昌一 委員

公式ホームページの閲覧件数は前年度44万件に対して51万件、LINEやメールの登録者数も増えている。

町長 閲覧内容を分析して町をPRしていきたい。また、リアルタイムの情報提供としてLINEの活用を検討してみたい。

## その他、

国民健康保険特別会計、次年子簡易水道特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計については、審議した結果、全て全員賛成で認定されました。



親睦のつどいのようす（令和6年6月16日）

# 豪雨災害、しっかり対応を！

## 一般会計補正予算

【全員賛成】

### 水と緑のふるさと

#### 大石田町応援寄附金

今野 雅信 議員

異常気象等によって返礼品の収獲が見込めない場合、町の対応は今後どうしていくのか。まちづくり推進課長 出荷または販売される業者と、打ち合わせしながら進めていく。新しい企業、新しい商品の展望は。

町長 各企業が一緒になったコラボ商品、セット商品、ふるさとをイメージできるような商品の開発を手助けしていければ。

#### 大石田まつり負担金

今野 雅信 議員

今後も花火代の値上がり予想される中、持続可能な花火大会にしなればと思うが、町としての考えは。

町長 個人のふるさと納税で

花火を上げる商品を検討したいと考えている。また、外部からの協力、協賛等も積極的に活用していく。

### 災害への備え

今野 雅信 議員

今年の7月25日の豪雨災害時、次子地区が一時集落孤立した。想像できない範囲での災害があるが、備えが必要。町としての考えは。



濁流となった最上川

町長 座談会でも意見をいただいている。今後の課題として検討していく。

海藤 義則 議員

今回停電した次子地区は、大石田方面からの送電線しかない。村山方面からも電線を繋げば停電を防げるのでは。町長 課題について、認識していなかった。東北電力と話してみたい。

### 小規模農地等災害 復旧事業補助金

二藤部冬馬 議員

災害時の復旧事業補助は、県の補助金が3分の1、町の補助金が6分の1で農地所有者の自己負担が発生している。農業従事者の平均年齢が上がる中、農家の担い手不足が懸念される状況だ。手厚く補助していく考えは。

町長 県や国に働きかけながら補助金や交付金の獲得を目指していく。

罹災証明の手続き、写真の用意、証明、申請が困難な方への対応は。

町民税務課長 以前と同様、写真を添付して申請するよう、周知している。



解体予定の保管庫

## 統合小学校建設整地工事

川崎 義治 議員

今年3月に2750万円で予算を承認したが、なぜ6ヶ月で431万円補正する必要があるのか。

教育文化課長 労働条件の変更で諸経費が増額したこと、資材、人件費の高騰で330万円の増額。また、中学校ソフトコート脇の保管庫の解体費用の増額、旧大石田高校の記念碑の移転が当初設計に入っていなかったため、100万円の増額。それらをあわせて431万円の増額となる。

## 新型コロナワクチン接種費用助成

小玉 勇 議員

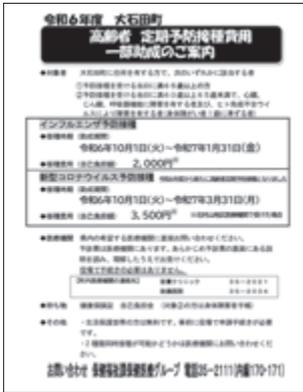
個人負担があるが、三市一町で同じ助成額にしたとのこと。町としての助成額拡充の考えは。

保健福祉課長 現時点では考えていない。

対象外である若者へも助成を。

保健福祉課長 原則満65歳以上の方、心臓、腎臓等に疾患のある方などの特例については60歳からとなる。60歳未満については対象としていない。

町長 町として助成ができるかどうか検討していく。



## 河川総務費 設計業務費

川崎 義治 議員

何を設計するのか。

建設課長 大橋の架け替えに伴う残地活用整備計画の検討業務を委託する。併せて、計画の策定をお願いする。

## 自殺対策

小玉 勇 議員

当町が県の事業のモデル地区になった。対象が中学生とこのことだが、現状の危機感とSOSの出し方についてとのことだが、中身は。

教育長 現状中学生自体に自殺者がというのは聞いていない。悩んでいる子はいるかと思うので、生徒に対するSOSの出し方について講座を実施している状況。



頑張れ！齋藤選手！！

## パブリックビューイング

村形 昌一 議員

齋藤元希選手のパブリックビューイングに参加した。今後も町挙げて応援が必要ではないか。

町長 主催者との調整も必要になってくる。できるだけ町出身選手を応援していきたいが、様々な手続きをクリアしながら進めていきたい。



6人の議員が  
一般質問

# どっする!? 大石田

## 一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことをいいます。  
質問内容は、議案とは関係なく議員が自由に決めます。  
質問席は、対面式になっており、町長と向かい合い質問します。  
1人当たりの持ち時間は1時間です。

この まさのぶ  
**今野 雅信** 議員 …………… 11ページ  
◆水害に強い町づくりを  
◆移住定住対策

こだま いさむ  
**小玉 勇** 議員 …………… 12ページ  
◆最上川の治水工事を早く開始するように国に働きかけるべき  
◇小学校が一つになり中学校との連携がますます深くなっていく。どのような教育を目指すのか

かいとう よしのり  
**海藤 義則** 議員 …………… 13ページ  
◆町農政問題について  
◆町道の流雪溝問題について  
◆入札制度について

かわさき よしはる  
**川崎 義治** 議員 …………… 14ページ  
◆街路樹、歩道の整備について  
◆統合小学校、令和9年開校までの進捗について

むらかた しょういち  
**村形 昌一** 議員 …………… 15ページ  
◆組織改編した今年の大石田まつりはどうだったか  
◆団員数減少の消防組織への対策は  
◆自主防災組織の充実を

はが きよし  
**芳賀 清** 議員 …………… 16ページ  
◆町政施行70周年を契機とした交流イベントの拡大を  
◇野良猫のゼロ化に向けて

一般質問の内容はインターネットでご覧いただけます。各議員のページに記載された二次元コードをお読み取りください。

◇：誌面の都合上、掲載を割合しました。



早急な内水対策を！（川端地区）



# 排水ポンプ常設して行くべきでは

このまさは  
**今野 雅信** 議員

## 国や県に常設できるように要望していく

町長

### 水害に強い町づくり

災害時の町としての対応は。

町長 危機管理・水防担当・道路関係部署で最上川の水位に合わせて行動

できるよう、災害発生時のタイムライン作成検討会議を開催した。各部署の行動状況の共有と見える化で対応できるようにしている。

### 被災復旧への対応は。

町長 国や県と連携しながら対応している。

### 全国で想定外の災害が起こる中、町民への周知や注意喚起が重要では。

町長 町民への周知や注意喚起は重要だ。町報や広報活動で周知していく。

### 孤立集落が発生した場合にドローンを活用する等の考えは。

町長 今の技術を活用して何ができるのか検討していく。

### 災害時の情報伝達はデジタルが主流になるが。

町長 デジタルの活用は

重要であり、町ではLINE登録等を勧めている。デジタルに慣れない方への対応も検討していく。

### 水害を想定した町ぐるみの訓練を。

町長 水害を想定した訓練も必要だ。今後、関係機関と相談しながら検討していく。

### 移住定住対策

募集の現状と課題は。

町長 移住者の受け入れを促進するため、ホームページやパンフレットで情報発信している。移住を考える上で雪を課題としている人が多いようだ。

移住定住フェアに、移住者も同行してもらい、経験談を話してもらっては。

町長 できる限り関わってもらえるよう検討していく。

### 相談窓口を一本化し、移住コーディネーターやアドバイザーを配置しては。

町長 まちづくり推進課が窓口となっている。地域おこし協力隊OBや、U・イターンした人などをコーディネーターとして配置することを検討していく。

### 移住定住に関する補助金を拡充する政策が必要では。

町長 クラウドファンディングで対策しているところもある。大きな財源が必要なので、できるだけ。

町長 移住コーディネーターに特別交付税が使えることは認識している。今後検討を進めていく。



町発行の移住・定住支援ガイド



# 治水工事は進んでいるのか

こだま いさむ  
小玉 勇 議員

## 令和11年度中に完了予定

町長

### 最上川治水

堤防工事に支障となる物件の所有者との話し合いはどうか。

町長 引堤事業用地の地権者は45名。8月までに全地権者と1回目の交渉を終了していると聞いている。

「移転交渉時に町職員がいないので不安だ」との意見もあるが。

町長 国交省と地権者との交渉は、極めて私的なものである。プライベートの問題もあり、原則町職員は同席しない。ただし、地権者本人から個別に要望があれば、対応す

ることも想定している。

以前、公的事業のため補償金を得て町内の他の場所に移転した場合、定住促進補助金制度には該当しないと聞いたが、その後どうなったか。

町長 制度の実施要綱を改め、該当するようになっている。是非、町内での移転を検討してほしい。

### 内水被害

7月25日の豪雨により川端地区等で浸水被害があった。どんな対応をしたのか。

町長 町では国からの貸

与分も含めて10基の水中ポンプを保有し、町内8か所に設置する旨、計画している。

当日は町内5か所に水中ポンプ、可搬式排水ポンプ、そして消防ポンプ車の小型ポンプを設置した。また、横山地区は、流雪溝用ポンプを活用し浸水被害を防ぐため活動したが、完全に防ぐことはできなかった。

### 今後どうするのか。

町長 当日の水防活動を検証し、国、県と連携し、内水被害の更なる軽減に努める。また、現在、国が行っている最上川内外水リスク調査を踏まえ水害多発地区の被害対策を進める。

広島県福山市では「50年後には災害リスクの高い区域の居住者ゼロ」を目指している。町の考えは。

町長 最上川舟運で栄えてきた歴史上、浸水想定



災害ボランティアの様子（戸沢村）

区域が広く、この区域を除外するとまちづくりが困難になる。堤防整備により令和2年7月豪雨と同じ規模の降雨に対する浸水被害は解消される見込みだ。

これらの状況から一定の災害リスクを念頭におき、堤防等ハード対策に加えて避難等のソフト対策を併せて進めていく。

県知事による被災現場視察（8月9日 川端地区）





鳥獣被害対策用電気柵



# 町農政に対して独自の取組みを

かいとう 海藤 義則 議員

## 町単独の補助制度も検討する

町長

### 鳥獣被害対策

イノシシ対策の補助については、町独自の補助も検討すべきでは。

町長 国や県にも要望しながら町単独補助も検討していく。

### みどりの食料システム戦略

町全体でJクレジットの運用に取り組んでは。

町長 農家個人で取り組んでもらう方向で考えている。

個人対応には限界がある。

J A等と提携しては。

町長 今後色々検討する。

### 町道の流雪溝

町内各所で流雪溝に不具合が見受けられるがどの程度認識しているか。

町長 問題があるとは認識していない。

里地区の水量の問題は。

町長 今後、土地改良区とも協議して改善できるところは検討する。

南通の水が流れにくい問題はどうみているのか。

建設課長 不具合は確認していなかった。勾配等も確認しながら対策を考えていく。

### 入札制度

一般競争入札から指名競争入札をするようになったのはなぜか。

副町長(指名業者選定審査会会長) 指名がほし

栄町の水路があふれる問題はどうなっているか。  
建設課長 夏場の水問題もあり、課題として認識している。水路流末の変更等、J R等との協議も踏まえて検討していく。

町政への貢献度は反映しているのか。

総務課長 指名競争入札においては貢献度は反映していない。



公正・公平な入札を！

\*Jクレジットとは  
温室効果ガスの排出削減量を「クレジット」として認定する制度。  
農業関係の取り組みとしては、水田の中間し期間を延長することで温室効果ガスであるメタンの発生量を削減することなどがあがる。



統合小学校のイメージ図



小学校建設、建設費高騰と  
児童数減少による影響は

川崎 義治 議員  
かわさき よしはる

建設費高騰の影響はある

町長

建設費高騰の影響は

当初より建設費が上がリ、児童数も令和12年度以降1学年10名に達しないことも想定できる。

現計画でいいのか。

町長 建設費の高騰は当然影響があるが、児童数については計画に影響はない。

教育長 少しでも事業費を抑えられるよう検討している。

小学校を3校そのままにしておくのと更に経費がかさむ。

事業費を抑えるとは。

教育文化課長 実施計画

では教室の面積を柱一本分狭くし、グラウンドの舗装や太陽光パネルの導入もどうするか等を検討している。

教育長 今後1学年10名

に達しないことも想定できるとは、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2050年の町の人口は3082人、ばらつきはあるが平均して1学年12人弱はいる。

人口3千人になっても複式学級は出てこない。

教室数や広さについても現在の計画で問題ないと考える。

児童数が減ることの対策

また同様の問題をかかえている自治体の情報は。

教育長 県内外の情報も収集している、どの自治体も工夫している。

児童の数については、

区域外就学や里帰り出産での就学等も考えられる。また、建築費25億円は当初の概算であり状況はご理解いただきたい。

街路樹と歩道の整備を

道路管理者は歩行者の安全を守る役割を担う。歩道の整備計画はないのか。

町長 歩道の整備計画はない。予算や人員等を勘案し、効率的に事業に取り組んでいる。

現在の財政状況では、既存の町道を補修維持していくことを優先せざるを得ない。

議会報告会・地域住民との対話集会で、四日町の町道の街路樹の立木が乱雑で困っているとの意見がでた。

他地区でも歩道に段差や街路樹の根で大きく破



街路樹の根で破損した歩道

損された箇所がある。

計画的な管理はできないのか。

町長 建設課に連絡したければ、職員で確認する。

連絡を受けてからでなく、事前に計画をたて、管理しては。

町長 道路の補修は予算を見ながら進めていく。その他の予算については、ふるさと納税の充当等、いろいろと検討していく。



期間は12月まで 売上のうち、1本0.5円の協賛金が町に入ります

# 花火大会を充実させよ

むらかた しょういち  
村形 昌一 議員

## 場所や花火等を研究していく

町長

### 大石田まつり

組織改編縮小した影響は。

町長 委員体制を見直し  
当日スタッフを中心に縮  
小したが問題はなかった。

町民号の募金状況は。

町長 216万円になった。

ふるさと納税からは。

町長 企業版ふるさと納税  
から382万円、ふるさと  
納税から500万円になった。

キリン「晴れ風」の花火  
大会を守る活動に選出さ  
れた経緯は。

町長 収入を増やすため  
に模索していたところ見  
つけ、事務を進めた。

当町への応援額は。

町長 80万円になる見込  
みとなる。

通行止め路線が過剰では。

町長 迂回路等も考慮し  
た結果、規制区間を決定  
した。

花火大会の今後の方向性  
は。

町長 当町最大のイベン  
トなので、持続可能な花  
火大会を模索していく。

### 団員数激減の消防組織

機能別団員の編成は。

町長 準備を進めている。

水利マップの作製は。

町長 地図アプリ上に消  
火栓や防火水槽の位置を  
表示する準備をしている。

どう育成しているか。

町長 県の自主防災組織  
リーダー向け研修会へ参  
加を依頼している。

消防団員の減少対策は。

町長 団員の処遇改善に  
努めており、定数も地域  
消防力の確保を前提とし  
た再編が必要と認識して  
いる。今後関係者と協議  
する。

予算の状況は。

町長 今年度から自主防  
災組織「組織強化補助金」  
を予算化している。

全地区加入の状況は。

町長 南通と栄町が未加  
入となっている。

### 自主防災組織の充実を

現在の活動状況は。

町長 徐々に訓練を実施  
する地区が増えており、  
防災士の資格も取得して  
いただくよう努める。

無料で来てくれる県の自  
主防災アドバイザーを積  
極的に活用すべきでは。

町長 要望があればどん  
な小さいところにも来て  
くれると聞いている。



防災意識の向上を！



町内には名所がたくさん。ぜひ桜まつりを



## 桜まつりを開催しては

はが きよし  
芳賀 清 議員

## 開催に向けて取り組む

町長

### 温泉周辺で桜まつりを

町政施行70周年を契機に交流イベントとして桜まつりを開催してはどうか。

町長 町内には桜の名所が複数ある。令和4年度から温泉裏の桜をライトアップし、好評を得ているので、桜まつりの開催に向けて観光協会や地域振興公社と連携し検討していく。

植樹されてから30年近くなるが手入れができていないし、テングス病にかかっている木もある。環境整備の考えは。

町長 多くの町民から植樹していただいた桜を大切にするためにも周辺の草刈りなど環境整備に取り組んでいきたい。

### 最上川舟唄全国大会開催を

涌谷町との友好協定から11年になる。涌谷町では桜まつりは毎年盛大に行われている。更に民謡「秋の山唄」全国大会を主催し、大成功している。当町でも舟運で栄えた町として、「最上川舟唄全国大会」を開催しては。

町長 令和元年まで東根市で実施しているが今年中止が決定している。

この民謡は全国的に有名で愛好者が多数来県している。町が主催するには予算、人材など必要で、今後開催の有無について検討したい。

### 観光専門員の設置を

花火大会もまもなく百年を迎える。今後も永く続けられるよう観光専門員を配置しては。

町長 観光部門の職員は少ないのでどう配置するのかも含めて、今後検討していく。

### ひなまつりの再開を

春のイベント、ひなまつりは、近年、展示者の高齢化やコロナ禍などで休止しているが再開の目途は。

町長 令和4年度に展示協力者にアンケート調査を行ったが、高齢化などにより展示が難しくなっている。ひなまつりの気運が高まれば再開を検討したい。



再開に期待

# 請 願

全員賛成

## 日米地位協定の抜本的改定に向けた議論を！

- ◆請 願 名 国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出に関する請願
- ◆請 願 者 沖縄を語る会 呼びかけ人 菅 野 真 治
- ◆紹介議員 小 玉 勇
- ◆請願要旨 基地のある沖縄県では、米軍関係者による事件・事故が幾度となく発生しているが、国民の命と安全を守るべき国の対策には実効性がなく、理不尽な日米地位協定の実態があからさまになっている。国民が安全安心に暮らす権利を守るため、日米が対等な関係となるべく、日米地位協定の抜本的改定に向けた議論を進めることを国に求める意見書の提出を提案する。



以上の請願について、意見書を提出した。……発議第6号

### 意見書提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、内閣官房長官

### 表紙の写真

9月22日、23日、大石田  
どきどきダンスフェスティ  
バルが開催されました。  
開催前夜のリハーサルに  
お邪魔し、音楽劇を鑑賞。  
庄巻の舞台美術と照明、  
そして美しい音楽と踊り。  
一丸となって創り上げる  
舞台に感銘を覚えました。

【記 二藤部】

### 教育委員会委員の 任命に同意

井上 清さん（下宿）を  
教育委員会委員として任命  
することに全員が同意しま  
した。  
任期は令和6年10月1日  
から4年間です。

## 議会を傍聴しませんか

次回の  
定例会は

12月3日(火)～12月9日(月)の予定です

お気軽にお越しください。(議場は役場3階です)

お問い合わせ先 大石田町議会事務局 ☎35-2111 内線311

### 議会中継を動画配信しています

大石田町議会では、本会議の様子を動画で配信しています。  
右の二次元コードを読み取ることで配信サイトをご覧ください。



# 研修報告

## 総務文教常任委員会

先進地を訪ねて

研修先

徳島県勝浦町

佐那河内村

総務文教常任委員会は、6月25日から27日にかけて、徳島県勝浦町及び佐那河内村で視察を行い、勝浦町では通年議会制等の議会運営、佐那河内村では移住定住施策について学んだ。

勝浦町では、通年議会のメリットや、導入するまでの経緯などを聞き、当町が目指す「町民に開かれた議会」を作っていく上で参考になった。

佐那河内村での移住・定住施策は、多様化する移住・定住希望者へのニーズに対応するため、コーディネート設置や、各種補助事業、空き家物件のストックなど、さまざまな施策を見ることができた。



移住・定住促進住宅の現地視察（佐那河内村）



勝浦町議会の皆さんと



部活動地域移行

9月26日、総務文教常任委員会では、仙台大学の松井陽子准教授を講師に部活動の地域移行について研修を行った。



広報誌制作基本ポイントは

研修報告

7月16日、山形国際交流プラザにおいて、町村議会広報研修会が開催され、広報常任委員4名が参加した。

## 厚生産建常任委員会

福祉の原点を訪ねて

研修先

戸沢村・秋田県藤里町  
にいわがまち  
岩手県西和賀町

厚生産建常任委員会は、7月9日から11日にかけて、戸沢村、秋田県藤里町、岩手県西和賀町などを視察した。

戸沢村は、国民健康保険発祥の地ということ、始めるまでの経緯と昨今の豪雨被害を受けての治水に対する取り組みなどを学んだ。藤里町では、社会福祉協議会が実施している大人の引きこもり対策について学んだ。

西和賀町では、旧沢内村で始まった老人医療費無償化の取り組みなどを学び、健康寿命を延ばすことの大切さなどに気づかされた。



山形県戸沢村長と



意見交換会のようす（岩手県西和賀町）

行政調査の報告書を町公式ホームページに掲載しています。  
右の二次元コードを読み取ることで、ご覧いただくことができますので、ぜひご覧ください。



### 議会事務局長逮捕に関するお詫び

令和6年9月13日（金）午後8時51分、当町議会事務局長が酒気帯び運転の道路交通法違反の疑いで現行犯逮捕されました。

我々議員と関係の深い議会事務局長が今回の不祥事を起こしたことについては、誠に残念であり、許しがたいことであると認識しております。また、任命権者である議長として、深く反省と責任を感じております。

二度とこのようなことが起こらないように再発防止に努めるとともに、議員、議会事務局職員それぞれが今回の件を重く受け止め、自らを律し、町民の皆様からの負託にこたえられるよう、まい進してまいります。

この度は、誠に申し訳ございませんでした。

大石田町議会議長 大山 二郎

# 大石田の民具を 訪ねて

Vol.1 蔓細工 (アケビ)

小玉 政義 (来迎寺)

昭和11年10月17日生



○これまでのことを教えてください。

学校を卒業し、町内で5年間左官職人の弟子につき、河北町の会社に入社、65歳まで働いてきました。

○蔓細工を始めたきっかけは。

退職後、何か打ち込めることはないかと思っていました。山好きからアケビやヤマブドウの蔓が目に入ったのかもしれない。

その頃、来迎寺に2人、蔓でかごを編んでいる先輩がいました。ある時、見学に行き、アケビの蔓をもらってきたのが直接のきっかけかも。

○蔓集めはどの様子か。

アケビがからんだ木の根元から地表に這った蔓を5〜6m位採っていきます。

1日かけても多くは集まらず苦勞しますが、山が好きなので苦になりません。

大蔵村肘折からその奥にある黄金温泉あたりまで通っていました。帰りに温

泉に入るのも楽しみの一つです。

○随分蔓が残っていますが。

編むときは風呂に浸けて柔らかくします。その後、表皮をはいて白くするなど、工夫をします。

今、中々時間が取れませんが、もう少し挑戦してみます。

○山で危ないことは。

クマ出没とか騒がれていますが、これまで一人で山に入って動物にあつたことはなく、怖いと思ったことはありません。人間と動物の関係が変わってきたのかなあ。



議員から一言

生活に必要な道具としてつくられてきた民具類も実際に使用されることは少なく、作る人も少なくなっている。民俗の歴史として残ってもらいたい。

【記 小玉】

編集後記

第3回定例会では、町が行政を執行する上で留意してもらいたいことを、議会の提言として町長へ提出しました。

9月に入っても残暑が厳しい日が続いたが、彼岸ごろには気候も落ち着き、従来の秋日和にホッとします。

この号が出る頃には「新そばまつり」が終わり、今年の新そばの味はどうかと「大石田そば」のファンの方々が、訪れたことでしょう。

「議会だより」を発行するにあたり、事前にイベントや季節の写真を撮り準備をしております。また、広報研修会にも広報委員が参加しました。「議会だより」についてご意見をいただければ幸いです。

【記 川崎】

■広報常任委員会

- 委員長 欠 員
- 副委員長 大野 達也 員
- 委員 遠藤 和好 員
- 委員 川崎 義治 員
- 委員 小玉 勇 員